

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 スカイシールF-2 主剤
 供給者の会社名称 大日化成株式会社
 供給者の住所 〒 709-4312 岡山県勝田郡勝央町黒土115-1
 供給者の電話番号 0868-38-5151
 作成日 2022年 5月 24日

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

記載のないものについては区分に該当しない、または分類できない。

[物理化学的危険性]

[健康に対する有害性]

生殖細胞変異原性	区分 2	発がん性	区分 1 A
生殖毒性	区分 1 B		
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (呼吸器系)		

[環境に対する有害性]

水生環境有害性 短期 (急性)	区分 3	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 2
-----------------	------	-----------------	------

GHSラベル要素

[絵表示又はシンボル]



[注意喚起語]

危険

[危険有害性情報]

遺伝性疾患のおそれの疑い
 発がんのおそれ
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系の障害
 水生生物に有害
 長期継続的影響によって水生生物に毒性

[注意書き]

安全対策 : 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。
 子供の手の届かないところに置くこと
 使用前にラベルをよく読むこと
 使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 容器を密閉しておくこと。
 涼しいところに置くこと。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 眼、皮膚、衣類につけないこと。
 取扱い後はよく全身を洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 直ちに医師に連絡すること。特別な処置が必要である。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
 無理に吐かせないこと。
 直ちに医師に連絡すること。特別な処置が必要である。

皮膚に付着した場：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
 多量の水／石鹼で洗うこと。
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診察／手当を受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。
 直ちに医師に連絡すること。

保管：施錠して保管すること。
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 涼しいところに置くこと。

廃棄：内容物／容器を廃棄する場合には、該当法規に従い、都道府県知事に許可された廃棄物処理業者に委託し、適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名	含有率(%)	官報公示整理番号 (化審法)	CAS No.
鉱物油	約62.0	非公開	非公開
水酸基末端ポリブタジエン	約23.0	非公開	非公開
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	約2.5	3-1307	117-81-7
フタル酸ジイソニル	約0.7	3-1307	28553-12-0
アスファルト	約2.0	非公開	非公開

石油系炭化水素	約1.3	非公開	非公開
カーボンブラック	約0.9	5-5222 5-3328	1333-86-4
二酸化ケイ素（非晶質シリカ）	約4.5	1-548	7631-86-9
ニッケル化合物	約0.3	非公開	非公開
エチルベンゼン	<0.1	3-28 3-60	100-41-4
キシレン	<0.1	3-3 3-60	1330-20-7
その他	約2.7	非公開	非公開

ニッケル化合物中のニッケルの含有量：製品中<0.1%

4. 応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
多量の水／石鹼で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
無理に吐かせないこと。
医師の診断／手当を受けること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：粉末ドライケミカル、炭酸ガス、泡消火剤、乾燥砂、大量の噴霧水など
- 使ってはならない消火剤：火災を拡大する可能性のある放水（棒状水など）
- 特定の消火方法：粉末ドライケミカルまたは炭酸ガスで初期消火にあたる。
火災が広がった場合は大量の噴霧水で消火する。
消火活動は可能な限り風上から行う。
着火していないドラム設備などに放水し、延焼・加熱防止や破裂の防止に努める。
- 消火を行う者の保護：消火作業の際は、状況に応じた保護具を着用する。
燃焼または高温により有毒ガスが生成するので、自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 保護具及び緊急時措置：作業の際には保護具を着用し、皮膚に付着したり吸入しないようにする。
- 環境に対する注意事項：環境への影響を起ささないよう、河川などに排出しない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材：漏れた液やこぼれた液を、密閉式の容器にできる限り集める。
残留液を、砂又は不活性吸収剤に吸収させる。
火花を発生させない工具を使用すること。
- 回収、中和などの浄化の

方法及び機材：少量の場合には乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

大量の場合には、何よりも拡散の防止を図る。できるだけ液体を容器に回収する。回収できなかったものに対しては少量の場合と同様の措置をとる。

水上に流出した場合は非水溶性の製品であるため、吸収材を使用して回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項：周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
換気の良い場所で取り扱う。局所排気装置の設置が望ましい。
眼、皮膚との接触を避けること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出は避けること。
取り扱い後はよく全身を洗うこと。

接触回避すべき化学物質：

保管

安全な保管条件：換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。
雨露を避け、風通しの良い湿度の少ない屋内で保管すること。
水濡れの危険のある床面では直置きを避け、パレットなど架台を用いる。
空気と混合して爆発の危険性があるため、蒸気漏れには注意すること。
保管場所は耐火構造とし、屋根を不燃材料で作って天井を設けない。
必要な採光、照明及び換気設備を設ける。
静電気対策のために容器および受器を接地する。

安全な容器包装材料：消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用すること。
製品の移動は容器に入れたままの状態で行う。
落下や他の器物に当てるなど容器を破らないように慎重に扱うこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

作業環境評価基準(2014)

キシレン：50ppm

エチルベンゼン：20ppm

許容濃度

日本産業衛生学会、許容濃度の勧告(2017)

フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)：OEL-M 5mg/m³

ニッケル化合物：OEL-M 0.1mg/m³

キシレン：OEL-M 50ppm

エチルベンゼン：OEL-M 50ppm

ACGIH(2018)

フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	: TWA	5mg/m ³
アスファルト	: TWA	0.5mg/m ³
カーボンブラック	: TWA	3 mg/m ³
エチルベンゼン	: TWA	20 ppm
キシレン	: TWA	100ppm

設備対策

取扱い場所の近くに目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用しなければ取り扱ってはならない。

保護具

呼吸器の保護具	: 防毒マスク(有機ガス用など)
	密閉された場所では送気マスクなど
手の保護具	: 不浸透手袋
眼・顔面の保護具	: 普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型の保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 肌を露出しない保護服、保護長靴、保護前掛け等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 粘稠液体
色	: 黒色
臭い	: 溶剤臭
融点/凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	:
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: 約185°C (推定値)
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の温度、圧力の条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 酸化剤と反応し、火災になることがある。
避けるべき条件	: 高温の物体、火花、裸火、静電気火花など

混触危険物質：酸化剤等

有害な分解生成物：一酸化炭素、窒素酸化物

1.1. 有害性情報

[製品・成分]

製品・成分名	急性毒性					皮膚腐食性 刺激性	眼損傷 刺激性	呼吸器 感受性
	経口	経皮	吸入					
			気体	蒸気	粉塵・ミスト			
製品	—	—	—	—	—	—	—	—
鉱物油	—	—	—	—	—	—	—	—
水酸基末端ホリブタジエン	—	—	—	—	—	—	—	—
非晶質シリカ	—	—	—	—	—	—	—	—
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	—	—	—	—	—	—	区分2B	—
フタル酸イソニル	—	—	—	—	—	—	—	—
アスファルト	—	—	—	—	—	—	—	—
石油系炭化水素	—	—	—	区分4	—	—	区分2B	—
カーボンブラック	—	—	—	—	—	—	—	—
ニッケル化合物	—	—	—	—	—	—	—	—
エチルベンゼン	—	—	—	区分4	—	—	区分2B	—
キシレン	—	区分4	—	区分4	—	区分2	区分2	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—

製品・成分名	皮膚感受性	生殖細胞 変異原性	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	誤えん 有害性
製品	—	区分2	区分1A	—	区分1 呼吸器	区分1 呼吸器	—
鉱物油	—	—	—	—	—	—	—
水酸基末端ホリブタジエン	—	—	—	—	—	—	—
非晶質シリカ	—	—	—	—	—	—	—
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	—	—	区分2	区分1B	区分3 気道刺激性	区分2 肝臓、精巣	—
フタル酸イソニル	—	—	—	区分2	—	—	—
アスファルト	—	—	—	—	—	区分1 呼吸器	—
石油系炭化水素	—	—	—	区分4	—	—	区分2B
カーボンブラック	—	—	区分2	—	—	区分1 呼吸器	—
ニッケル化合物	—	—	—	—	—	—	—
エチルベンゼン	—	—	区分2	区分1B	区分3 気道刺激性 麻酔作用	区分2 聴覚器	区分1

キシリ	-	-	-	区分1B	区分1 中枢神経、呼吸器、 腎臓、肝臓 区分3 麻酔作用	区分1 神経系、呼吸器	-
その他	-	-	-	-	-	-	-

※ -：区分に該当しない又は分類できない

1.2. 環境影響情報

[製品・成分]

製品・成分名	生体毒性		残留性・分解性	生体蓄積性	土壌中の移動性	オゾン層への有害性
	短期（急性）	長期（慢性）				
製品	区分3	区分2	-	-	-	-
鉱物油	-	-	-	-	-	-
水酸基末端ホリブタジエン	-	-	-	-	-	-
非晶質シリカ	-	-	-	-	-	-
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	-	区分4	-	-	-	-
フタル酸イソニル	-	-	-	-	-	-
石油系炭化水素	-	-	-	-	-	-
カーボンブラック	-	-	-	-	-	-
ニッケル化合物	-	-	-	-	-	-
エチルベンゼン	区分1	-	-	-	-	-
キシリ	区分2	区分2	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-

※ -：区分に該当しない又は分類できない

1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者と契約し、廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

汚染容器及び包装：空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者と契約し、廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

1.4. 輸送上の注意

国連番号：3082
 品名（国連輸送名）：Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s
 国連分類（輸送における危険有害性クラス）：クラス9
 容器等級：III
 海洋汚染物質（該非）：該当
 MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質（該非）：不明

国内規制

指針番号：171

その他の情報：運搬に関しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

移送時にイエローカードの保持が必要である。食料や飼料と一緒に輸送してはならない。

15. 適用法令

化学物質把握管理促進法（PRTR 制度）

第1種指定化学物質

フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険有害物

鉱物油、フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)、アスファルト、カーボンブラック、ニッケル及びその化合物、
二酸化ケイ素（非晶質シリカ）

化審法

優先評価化学物質

フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)、キシレン、エチルベンゼン

消防法

第4類引火性液体 第3石油類 非水溶性液体(2000L) 危険等級Ⅲ

化審法

優先評価化学物質

エチルベンゼン、キシレン、トルエン

毒物及び劇物取締法

非該当

船舶安全法

危規則第2、3条危険物告示別表第1：有害性物質

航空法

施行規則第194条危険物告示別表第1：その他の有害物

16. その他の情報

- ・この SDS は JIS Z 7253 に準拠し作成しております。
- ・記載事項は作成時点で入手した最新情報をもとにしていますが、その正確性または完全性を保証するものではありません。全ての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。
- ・記載事項は通常の実用を対象とするものですので、指定された用途・用法以外に使用しないでください。
- ・使用者においては、安全と健康及び環境保護を確実にを行うため、この SDS の情報に加え自ら収集された情報を合わせて、その適合性と完全性をご判断ください。
- ・この SDS は日本国内においてのみ適用するものとします。